

第105号 令和6年5月

いばら 市議会だより

【目次】

令和6年度当初予算	2 P
2月定例会	4 P
委員会報告	6 P
一般質問	8 P
編集後記等	12 P

発行／井原市議会
編集／井原市議会広聴広報委員会



E-mail: gikai@city.ibara.lg.jp
TEL 62-9535 FAX 62-9556



夜桜見物の皆様



井原桜堤

令和6年度予算審議

新年度の予算が決まりました

予算総額

412億5,052万円
(前年度当初比1.1%減)

【予算内訳】

一般会計 218億2,800万円

特別会計 110億3,890万円

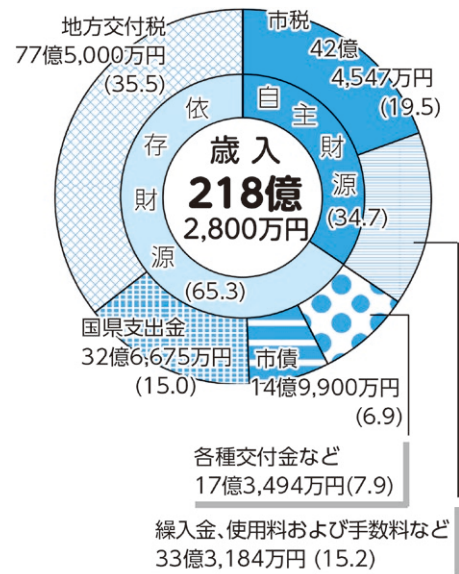
企業会計 83億8,362万7千円

一般会計予算内訳

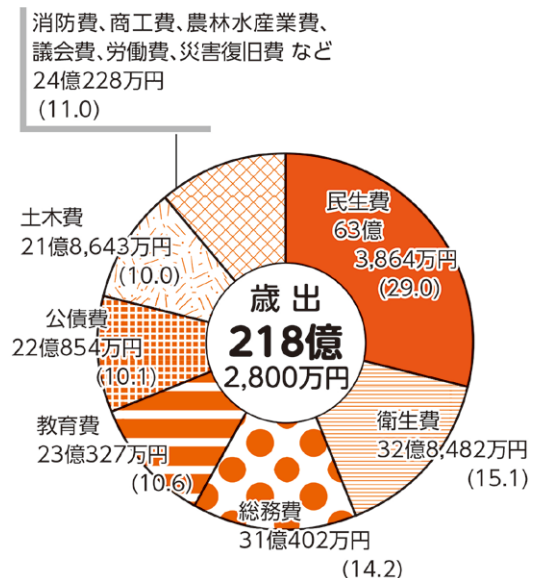
議会費	2億2,756万6千円
総務費	31億402万0千円
民生費	63億3,863万5千円
衛生費	32億8,481万5千円
労働費	4,617万5千円
農林水産業費	6億555万4千円
商工費	6億8,115万1千円
土木費	21億8,643万4千円
消防費	7億8,627万1千円
教育費	23億326万8千円
災害復旧費	3,557万0千円
公債費	22億854万1千円
予備費	2,000万0千円

2月定例会において、市長から令和6年度の予算案が提案され、3月13日・14日の2日間、予算決算委員会を開催し、その内容について審査を行いました。

その結果、全ての予算案を原案どおり可決し、令和6年度の市の予算の使い道が決まりました。その中から主な事業を紹介します。



一般会計歳入



一般会計歳出

令和6年度当初予算編成の特徴

厳しい財政環境の中にあっても、将来を見据え、だれもが主役で活躍できる、しあわせが実感できる「元気なまちづくり」の実現に向けて、新たな視点・発想や多様な主体との協働により、「井原市第7次総合計画 後期基本計画」及び「井原市第2期総合戦略」に掲げる各種施策を着実に推進するとともに、「次世代へつなぐ財政改革」として「持続可能な財政運営」の確立を図ることを基本に予算編成が行われています。

井原市第7次総合計画 『理念・目標』

基本理念「輝くひと 未来創造都市 いばら」

- 基本目標1 伝統、文化が引き継がれ、郷土を愛する人が育まれるまちづくり【教育・文化】
- 基本目標2 地域の宝を生かし、魅力がいっぱいで、活力にあふれるまちづくり【産業・交流】
- 基本目標3 子育てしやすく、誰もが生きがいもち、いきいきと暮らせるまちづくり【健康・医療・福祉】
- 基本目標4 安全・安心で、美しい自然と調和した、みんなが住みよさを実感できるまちづくり【環境・防災・防犯・都市基盤】

主な事業の紹介

【事業名】(仮称)県立井原高校南校地跡地の活用検討委員会

【事業費】8万9千円

【内 容】

市内の各種団体等で構成する検討委員会を設置し、県立井原高校南校地跡地全体の活用について検討する。

【事業名】地域幸福度指標調査・分析業務委託

【事業費】350万円

【内 容】

「井原市第7次総合計画後期基本計画」で示した市民の幸福感や暮らしやすさの指標化に向け、市民に対し幸福度アンケート調査を実施し、調査結果の評価分析をする。

【事業名】井原市ふるさと納税

【事業費】5億9,999万9千円

【内 容】

諸事業を実施する財源を確保するため、井原市を応援しようとする市外在住者から寄附金を募り、寄附者には地元特産品等を返礼品として贈呈する。

令和6年度はポータルサイトの追加や、返礼品の充実などを図り、さらなる寄附額の増加を目指す。

【事業名】CIO(最高情報責任者)補佐官活用事業

【事業費】560万円

【内 容】

デジタル人材を確保するため、「CIO補佐官」として情報化施策全般に係る専門人材の派遣を受け入れ、システムの調達及び最適化、情報セキュリティ管理、窓口DX、人材育成等、DXを推進する。

【事業名】協働のまちづくり事業

【事業費】2,942万5千円

【内 容】

持続可能なまちを目指し、財政的支援のほか、まちづくり計画の策定・実行支援、地域課題解決支援など伴走的支援を行いながら、住民とともにそれぞれの特性を活かしながら協働のまちづくりを行う。令和6年度はまちづくり支援員を1名増員する。

【事業名】指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)開設業務

【事業費】11万円

【内 容】

「熱中症特別警戒情報」が発令された場合、指定暑熱避難施設として指定を受けた冷房設備を備えた公共施設(市役所本庁及び各支所、井原図書館、アクティブライフ井原等)の一般開放を行う。

【事業名】地域生活支援拠点等整備事業

【事業費】9万円

【内 容】

障害者等の障害の重度化、高齢化や「親亡き後」に備えるとともに、施設等からの地域移行を進めるため、地域全体で障害者等を支えるための機能を整備し、障害者福祉の充実を図る。

【事業名】救急相談センター事業

【事業費】158万7千円

【内 容】

コールセンターに看護師等が常駐し、急な病気やけがに関する市民からの電話相談に対して適切な助言を行い、緊急性の高い症状の場合は119番へ転送し、緊急性の低い場合は受診可能な医療機関を案内する。

【事業名】井原体育館空調設備整備事業

【事業費】1,600万円

【内 容】

スポーツに親しむことができる環境づくりを目的に、地中熱を利用した空調設備導入のための実施設計を行う。

令和7年度に空調設備施工の予定。

2 月 定 例 会

2月27日～3月18日
(21日間)

2月27日から3月18日にかけて、2月市議会定例会が開かれました。2月定例会における各議案の案件名と議決結果は次のとおりです。

議案番号	件 名	議決結果
予 算 議 案		
議案第 1 号	令和5年度井原市一般会計補正予算（第7号）	原案可決 (全会一致)
議案第 2 号	令和5年度井原市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決 (全会一致)
議案第 3 号	令和5年度井原市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決 (全会一致)
議案第 4 号	令和5年度井原市産業団地開発事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決 (全会一致)
議案第 5 号	令和5年度井原市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決 (全会一致)
議案第 6 号	令和6年度井原市一般会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第 7 号	令和6年度井原市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第 8 号	令和6年度井原市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第 9 号	令和6年度井原市介護保険事業特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第10号	令和6年度井原市産業団地開発事業特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第11号	令和6年度井原市美星地区畑地かんがい給水事業特別会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第12号	令和6年度井原市水道事業会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第13号	令和6年度井原市病院事業会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第14号	令和6年度井原市工業用水道事業会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第15号	令和6年度井原市下水道事業会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第16号	令和6年度井原市大倉財産区会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第17号	令和6年度井原市東水砂財産区会計予算	原案可決 (全会一致)
議案第18号	令和6年度井原市宇戸財産区会計予算	原案可決 (全会一致)
予 算 議 案 (追 加 議 案)		
議案第38号	令和6年度井原市一般会計補正予算（第1号）	原案可決 (全会一致)
条 例 議 案		
議案第19号	井原市事務分掌条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第20号	井原市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第21号	井原市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第22号	井原市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第23号	井原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第24号	井原市介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第25号	井原市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第26号	井原市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第27号	井原市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第28号	井原市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第29号	井原市地場産業振興センター条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第30号	井原市営住宅条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第31号	井原市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第32号	井原市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)

議案番号	件 名	議決結果
そ の 他		
議案第33号	福山市と井原市との間における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更について	原案可決 (全会一致)
議案第34号	井原市過疎地域持続的発展市町村計画（令和3年度～令和7年度）の変更について	原案可決 (全会一致)
議案第35号	市道路線の認定及び変更について	原案可決 (全会一致)
議案第36号	岡山県広域水道企業団への出資について	原案可決 (全会一致)
議案第37号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意 (全会一致)
そ の 他（追 加 議 案）		
議案第39号	井原市病院事業管理者の選任につき同意を求めることについて	同 意 (全会一致)

2月市議会定例会において審議された主な議案の概要について

・議案第1号 令和5年度井原市一般会計補正予算（第7号）について

- ◎補正額 7億8,440万円
- ◎補正後の予算総額 237億9,100万円（前年同期比7.7%減）

■歳出の主なもの

総務費 ふるさと納税事業（寄附額増対応） 1億1,998万円

民生費 住民税非課税世帯等臨時特別給付事業 1億5,725万円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた低所得世帯の生活を支援するため、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、住民税均等割のみ課税世帯に対して、「住民税均等割のみ課税世帯臨時特別給付金」（1世帯あたり10万円）を支給する。また、18歳以下の児童を扶養している住民税均等割非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯への給付の加算として「低所得者の子育て世帯臨時特別給付金」（児童1人あたり5万円）を支給する。

商工費 寄附受納による産業振興基金積立金 2億0,000万円

井原市の産業振興と地域活性化を図るために貢献したいという寄附者の意向により、寄附金を井原市産業振興基金へ積み立てるもの。

教育費 小・中学校校舎改修事業（学校施設環境改善交付金事業） 1億5,466万円

学校施設の屋上防水・外壁改修工事を実施し、防災（避難所）機能の強化を図るとともに、躯体の保全を図る。（井原小学校 特別教室棟、大江小学校 管理教室棟、芳井中学校 普通教室棟・管理特別教室棟）

・議案第38号 令和6年度井原市一般会計補正予算（第1号）について

- ◎補正額 880万円
- ◎補正後の予算総額 218億3,680万円（前年同期比4.0%増）

■歳出の主なもの

総務費 定額減税に係る住民税システム改修 880万円

令和6年度税制改正大綱（令和5年12月22日閣議決定）による令和6年度分個人住民税の定額減税の実施に伴い、住民税システムに所要の改修を行うもの。

3月11日開催

シティブロモーションに関する実績と成果を把握し、現状の課題と今後の方向性を確認するため、執行部の説

A: ゴールは、移住・定住者を確保していくこと。

3月8日開催

に影響はあるのか。



予算決算委員会

3月13・14・18日開催

議案19件 を審査

〈議案第1号 令和5年度井原市一般会計補正予算(第7号)〉
議案第5号 令和5年度井原市水道事業会計補正予算(第2号)〉
原案可決

〈議案第6号 令和6年度井原市一般会計予算〉

Q. 地方就職学生支援金について、東京圏内の学生に対して往復交通費の2分の1の補助ということだが東京圏内とした理由は。

A. 関東方面へ集中する若者の地域移住の支援ということで、国が制度を新たに設けたことによる。

Q. この補助金の算出

方法と財源は。

A. 岡山県の旅費規程で算出することになり、総費用の2分の1のうち、国が2分の1、県と市がそれぞれ4分の1を負担することとしている。

Q. 救急相談センター事業について、コールセンターに看護師等が常駐するということが、コールセンターはどこにあるのか。

A. この事業は既に広島広域都市圏で実施をしているコールセンターに参加する形で実施するものであるため、コールセンターは広島市のほうに設置されている。



Q. 有害鳥獣駆除事業費補助金について、予算額は有害鳥獣の駆除頭数の見込み数によって作成しているのか。

A. 鳥獣被害防止計画に捕獲計画数というものを定めており、この9割を見込んで予算立てをしている。



Q. 平櫛田中美術館ワークショップ事業について、令和5年度

の取組内容と令和6年度の取組予定を伺う。

A. 令和5年度は田中旧宅の管理運営団体や倉敷芸術科学大学の先

生、平櫛田中賞受賞者によるワークショップ等を実施した。令和6年度についても、田中旧宅の管理運営団体、倉敷芸術科学大学との連携によるワークショップ開催のほか、平櫛田中の回顧展では、過去の平櫛田中賞受賞作家をお招きしてのワークショップを計画している。



Q. 公民館の印刷機購入について、購入ということであるが、リースでの対応は検討したのか。

A. 消耗品等の経費もかかるということもあり、リースについても検討したが、購入のほうが安価であった。

原案可決



〈議案第7号 令和6年度井原市国民健康保険事業特別会計予算〉
議案第18号 令和6年度井原市宇戸財産区会計予算〉
原案可決

〈議案第38号 令和6年度井原市一般会計補正予算(第1号)〉

Q. システム改修業務委託料について、現在

のシステムにおいて保守費用を負担していると思うが、その保守の中で改修対応がされるといったことはないのか。

A. 軽微な改修は、保守費用の中で対応できるが、今回のように大きい内容の改修は業者とヒアリングを行う。その際、保守の中で対応できるかといった協議はしたが、今回については保守の中では行えないということであった。

原案可決



一般質問

11名の議員が質問



【質問者】

- ◆大滝文則…… 8 P
- ◆惣台己吉…… 8 P
- ◆西田久志…… 9 P
- ◆佐藤 豊…… 9 P
- ◆多賀信祥…… 9 P
- ◆柳原英子…… 10 P
- ◆宮地俊則…… 10 P
- ◆坊野公治…… 10 P
- ◆山下憲雄…… 11 P
- ◆荒木謙二…… 11 P
- ◆三宅孝之…… 11 P

※掲載している一般質問は、紙面の都合により発言を要約し、質問した議員本人の原稿に基づいて掲載しています。

※井原市議会では、一般質問の模様をYouTubeで配信しており、各議員のページの二次元コード（QR）から動画を視聴できます。



令和6年度予算編成のポイントについて

いばら清流クラブ
代表質問

無所属

おおたき
大滝 文則



令和6年度の財政見通しと今後の対応について・平成30年度からの各種の指標から見える現状の評価と課題について伺う

基金残高や市税は平成30年度より減少する中で、地方債残高は、約40億円増加するという状況にあり、今後とも厳しい財政環境が見込まれることから、ふるさと納税などの新たな財源の確保に努めるとともに、地方財政制度を有効に活用して持続可能な財政運営の確立を図っていききたい。

令和6年度予算編成のポイントを伺う

令和6年度の財政見通しと今後の対応について・平成30年度からの各種の指標から見える現状の評価と課題について伺う

直近の5年間の人口減少は2千516人で、5



大規模地震に対する備えと発災時の対応について 他1件

いばら太陽の会
代表質問

無所属

そうだい
惣台 己吉



本市で大規模地震が発生した場合の対応について伺う。

災害時職員初動マニュアルに沿って、迅速かつ円滑に災害対策本部の設置、職員の参集、情報の収集などの応急対応業務を行うこととしている。

震度5強以上の地震が発生した場合は、発生時点で災害対策本部を設置し、直ちに全職員が登庁し、道路や水道などの市管理施設や医療機関、社会福祉施設などの被害状況や、火災・停電の状況、人的被害の把握に努め、関係機関と協力し応急対策に取り組むこととしている。

直近の5年間の人口減少は2千516人で、5



井原図書館建て替えについて

個別施設計画策定に伴う井原図書館の今後の検討について伺う。

公共施設等総合管理計画において、公共施設の建て替えは、複合化、多機能化を前提とすることとしている。

また、公共施設個別施設計画の中で、井原図書館は存続する施設として、その建て替え時期は令和11年度あたりと示している。検討にあたっては、広く意見を聞きながら、ニーズ、利便性などを配慮し、誰もが利用しやすい図書館となるよう、様々な視点で検討したい。



市長の2期目の公約の内、4つの公約の進捗状況とこれからの展望について

いばら市民クラブ

代表質問

無所属

にしだ ひさし
西田 久志



問「誰もが自立した生活ができる環境の整備」について

答 経済的な自立を支援していく為に、令和5年11月から福祉課に障害者就労支援員1名を配置した。誰もが自立した生活ができるよう環境整備に努める。

問「小田川の恵みを再認識し、川を活用したまちづくり」について

答 小田川を地域活性化や観光振興などを進める地域特有の資源と捉え、市や民間事業者、地域住民等が河川管理者と連携し、小田川を活かしたまちづくりを進める。



小田川

問「幹線道路沿いに賑わい拠点の整備を進める」について

答 今後は、整備候補地選出や施設規模の想定、施設配置の検討など概略設計を進め、令和6年度の基本計画策定を目指して事業を進めていく。



金毘羅橋

学校跡地の有効活用を

問複合型の総合福祉施設を検討していただき

たい

答 福祉施設の話も当然出てくると思うので、多くのご意見をいただき検討していく。



带状疱疹ワクチンの一部公費助成について

公明党 佐藤 豊



問带状疱疹ワクチンの一部公費助成について

答 本市では国の動向を注視しておりますが、国の審議会におきましては、带状疱疹は高齢に伴って高い罹患率が見られるものの、死亡に至ることはまれであり、治療薬等も存在するという知見もあり、ワクチンの安全性、有効性、費用対効果等について今後も引き続き議論を重ねられる予定であり、現段階では結論が出ていないのが現状であります。井原市といたしましては、引き続き国の定期接種化に対する動向も注視しながら、慎重に検討してまいりたいと考えております。

レとマンホールトイレの整備について

答 本市の災害時の対策としては、断水などでトイレが使用できない場合には簡易トイレを使用することとしております。南海トラフ地震における目標備蓄量1万6千190袋を第1次開設避難所に備蓄しております。マンホールトイレの設置は現時点では具体的な計画はございませんが、今後防災公園等新たな施設を整備する際には、水源の確保とともにマンホールトイレの整備について検討したいと考えております。



避難所への簡易トイレ



井原体育館空調設備整備に向けた調査事業の結果と今後の取組について 他1件

無所属 多賀 信祥



令和7年度完成予定

ひとづくり事業の現状と今後の取組について

問 調査結果について

問 今後の課題について

問 今後のスケジュールについて

問 今後のスケジュールについて

問 令和6年度に詳細設計委託料を計上、令和7年度に工事予算を計上する。令和7年度末の完成を目指す。

問 財源について

問 環境省の自立分散型エネルギー設備等導入推進事業の補助を考慮している。補助率は2/3。

問 多くの活動は、『参画のはしご』の6の「大人主導で意思決定に子どもも参画」以上の活動内容が含まれていると認識をしている。

問 参画のはしごを意識した取組は

問 参画のはしごを意識した取組は

問 参画のはしごを意識した取組は

問 参画のはしごを意識した取組は



参画のはしご	
8	子ども主導の活動に大人も巻き込む
7	子ども主導の活動
6	大人主導で意思決定に子どもも参画
5	大人主導で子どもの意見提供ある参画
4	与えられた役割の内容を認識した上での参画
3	形式的参画
2	お祭り参画
1	偽り参画



コミュニティ・スクールについて

無所属 柳原 英子
やなぎはら えいこ



問 コミュニティ・スクールの運営協議会に地域住民の参加が低調な場合、形骸化していく恐れがあるが、どのような支援をしていくのか。

答 コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校のこと。学校運営協議会とは、校長と学校の教職員、保護者や地域住民等で構成され、学校と地域住民が力を合わせて学校運営に取り組むことが可能となる、地域とともにある学校への転換を図る仕組みのこと。

本市では、ひとつくりネットワーク運営協議会があり、地域全体で子どもたちの成長を支える体制づくりをしている。学校と地域が

連携協働して、子どもたちを育てていきたい。**問** コーディネーターを設ける考えはないか。

答 ひとつくりネットワーク運営協議会にコーディネーターの役をする地域学校協働活動推進員があり、別途コーディネーターを配置する考えはない。

問 財政措置や財源はあるのか。

答 令和6年度の予算120万円は、学校運営協議会委員に支払う報酬。



市内住宅と水道管の耐震化について

無所属 宮地 俊則
みやじ としのり



まずは住宅の耐震診断を受けましょう！

問 能登半島地震で住宅耐震化の遅れが指摘されている。本市の現状は

答 住宅の耐震化率は全国が87%、県下で82%、本市は77%と低い状況である。

問 耐震改修促進に向けた補助制度の内容は

答 耐震化していない住宅に対して耐震診断と耐震改修を支援する制度を設け、耐震化を促進している。耐震診断補助金は1万1千200円の自己負担で受けることができ、耐震改修補助金は工事費の100分の23、上限80万円である。

問 補助を受ける窓口は

答 都市施設課へ申し込めば、その後の手配は市がします。

問 市内水道管の老朽管更新の現状は

答 漏水の多い箇所を重点的に更新しており、進捗率は11・1%である。

問 更新計画の見直しが必要ではないか

答 本市の管路の更新率は大変低い、水源地や配水池が多くあり、基幹施設の耐震化を進めている状況にある。時期が来たら計画の見直しが必要だと思っている。



地域猫活動に対する支援について 他1件

無所属 坊野 公治
ぼうの きみはる



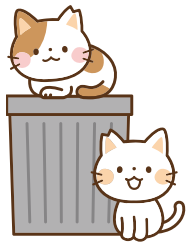
問 ①野良猫の苦情に対する対策について。②地域猫活動に対する取組について。③TNR活動に対する助成について。

答 ①啓発看板の設置、餌やりの適切な対応依頼、地域猫活動の紹介を行っている。②今後、市広報やHPで岡山県動物愛護センターの取組について啓発していく。③現在本市では助成制度は設けていない。今後は（公財）どうぶつ基金など、助成事業を行っている団体等の情報提供に努めていく。

問 市内幼稚園・保育園の今後の在り方について

答 本市の幼稚園では園児数の減少が進んで、休園の幼稚園がある。一方保育園では待機児童が発生している。幼稚園の統廃合、認定こども園への移行は必要と思うが本市の考えを伺う。

問 令和5年度の幼稚園の園児数は180名、令和6年度は153名。対して保育園の園児数は令和5年度は18名、令和6年度は82名の見込みである。統廃合については、保護者や地域の意見を聞いて研究していく。こども園への移行は認可基準に基づく整備が必要となり、今後の児童数や施設の状況をみて研究していく。





本市の公共下水道事業の整備
状況と経営課題への対応について

無所属

やました
山下

のりお
憲雄



問 公共下水道事業は事業費に対し、使用料収入は低く、他会計補助金と長期前受金戻入が経営を支えている状況です。企業債残高も約100億円と大きな負債をかかえています。

答 市民の生活環境と水質保全を目的に、井原処理区と芳井処理区の整備を進めています。井原処理区は令和5年度末で整備93・9%、芳井処理区は84・2%となり、全体では93・0%の整備率です。令和8年度までに未整備区域の整備を目指しています。経営課題に対しては、令和4年度末で企業債残高が約100億円あります。今後も施設改修による投資が必要で、平成29年度から10年間の経営戦略を策定し、令和5年度にはその見直しを行っており、安定的なサービス提供と財源確保のための具体的方策を検討しています。内容としては、投資資産及び財源資産の将来予測による投資財政計画の立案及び経営健全化や財源確保の具体的方策を整理するとともに、適正な下水道使用料水準の検討を行っています。



中学校の部活動の
地域移行について 他1件

無所属

あrawaki
荒木

けんじ
謙二



問 地域移行への課題として、受皿の確保、指導者の人材確保、生徒の送迎、経費的負担が挙げられているが、それぞれの課題克服に向けての進捗状況について。

答 受皿の確保については、休日の部活動を指導していただける部活動指導員の配置を基本的な受皿としているが、指導していただける方が見つからず、十分に配置できていないのが現状である。

地域の受皿については、市内に所属するクラブチームや「いばら生き生きクラブ」も受皿になり得ると考えている。

生徒の経済的負担については、中学校体育



連盟主催の大会にクラブチームが出場できることから、クラブチームが参加する場合にも交通費、宿泊費の一部を令和6年度から補助し、保護者の経済的な負担軽減を図る。

問 地域移行をした部活動の現在の課題について。

答 井原中学校の陸上競技部と木之子中学校の卓球部で休日の地域移行が行われているが、地域移行は一部しかできておらず、指導者の確保などの受皿の不足が課題である。



障がい者就労支援について

無所属

みやけ
三宅

たかし
孝之



誰もが働き活躍できる
共生社会の実現を！

問 令和4年度、障がい者の就労者数は何人か。

答 就労継続支援事業A型・B型へ155人、地域活動支援センターへ52人で、合計207人。

問 総社市「障がい者千五百人雇用」の取組の

ように一丸となって共生社会の実現を目指してはどうか。

答 各企業で雇用している障がい者数は井原市はまだ把握していないが、商工会議所・商工会と協定なり、連携し、地域全体で障がい者雇用の理解を高めていきたい。

障がい者就労者数（井原市）
障がい者2,536人（令和3年3月井原市障害者福祉計画から）

区分	一般就労				福祉的就労			
	市内事業所	市外事業所	市役所	計	市内事業所	市外事業所	計	合計
令和5年	※把握なし	把握なし	9	把握なし	207	把握なし	把握なし	

※5人は福祉施設から一般就労に移行

障がい者就労者数（総社市）
障がい者3,152人（平成23年4月）

区分	一般就労				福祉的就労			
	市内事業所	市外事業所	市役所	計	市内事業所	市外事業所	計	合計
令和5年12月	555	314	14	883	355	93	448	1331
令和4年12月	525	289	13	827	348	89	437	1264
令和3年12月	505	263	12	780	358	83	441	1221
令和2年12月	451	238	12	701	341	87	428	1129
令和元年12月	426	223	11	660	330	75	405	1065
平成30年12月	393	204	13	610	325	71	396	1006
平成29年12月	393	183	12	588	333	108	441	1029
平成28年12月	363	189	13	565	292	102	394	959
平成27年12月	335	166	12	513	285	88	373	886
平成26年12月	317	148	15	480	263	81	344	824
平成25年12月	279	117	11	407	240	56	296	703
平成24年12月	252	54	11	317	207	53	260	577

市議会を傍聴してみませんか

市議会の本会議及び委員会是一般に公開していますのでお気軽にお越しください。会議当日の8時30分から市役所5階の議会事務局で受付いたします。どなたでも傍聴できますので、希望される方は議会事務局で傍聴券の交付を受け（先着順）、入場してください。

傍聴者の定員

本会議場 38名（うち8席は報道用）
委員会室 10名
全員協議会室 5名

行政視察の受け入れ

次の3市の議会議員の皆さんが視察に訪れ、当市の取組について研修されました。

群馬県藤岡市議会

（令和6年1月24日）

「井原市地域農産物総合交流センター（葡萄酒浪漫館）について」

栃木県矢板市議会

（令和6年1月25日）

「世界が認めた『美しい



福岡県福岡市議会

（令和6年2月7日）

「星空保護区について」

「星空」の下でのまちづくり推進事業について

6月定例会の仮日程

6月10日（月）	開	会
	（市長の提案説明）	
6月12日（水）	一 般 質 問	
6月13日（木）	一 般 質 問	
6月14日（金）	一 般 質 問	
6月17日（月）	議 案 審 議	
6月18日（火）	（厚生文教委員会）	
6月19日（水）	（総務産業委員会）	
6月20日（木）	（予算決算委員会）	
6月24日（月）	議案審議・閉会	

日程については、6月4日（火）の議会運営委員会で協議した後、ホームページ等でお知らせします。

～ 会議録の検索 ～



井原市議会
ホームページ



井原市議会のホームページでは、平成24年2月定例会分から常任委員会の会議録（要点筆記）を公開しています。また、平成9年3月定例会以降の本会議の会議録を検索することができます。

市のホームページから市議会ホームページへアクセスし、「会議録」をクリックしてください。

（井原市ホームページアドレス）

<http://www.city.ibara.okayama.jp>

なお、この会議録につきましては、正式な会議録とは若干異なります。

編集後記

井原地域に春が訪れ、市内の学校では、新入生を迎え新しい雰囲気の中、新学期が始まりました。また、平瀬田中美術館では、20年ぶりの鏡獅子の里帰りに大変な盛り上がりがあります。そこで、インバウンドも含め多くのの方々のご来井を期待しております。

さて、今回の議会だよりは、紙面の内容を少し変えて編集しています。

皆様に、親しまれやすい「議会だより」を目指し頑張りますので、よろしく願います。（西田久志）

広聴広報委員会

委員長	西村慎次郎
副委員長	多賀 信祥
委員	宮地 俊則
〃	西田 久志
〃	坊野 公治
〃	山下 憲雄
〃	柳原 英子
〃	沖久 教人